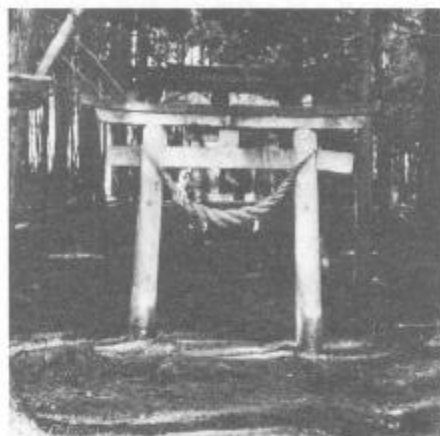


13 大石神社

伝承地：飯田町595

話者：3



(大石神社)

飯田町は、現在宇都宮市を代表する稲作地帯であるが、かつては水不足に悩む土地であったという。

この飯田地区が豊かな水に恵まれたことについては、大石神社に次のような伝承がある。

むかしのことですが、飯田の村は田植の時期になっても水がなく、田植のできないことが続きました。お米の作れない農民の生活は悲惨そのもので、中には食べる物もなく餓死する人が出るありさまでした。

そこで村人たちが寄り合ってなんとかしようかと相談しました。その結果、村の長老の

意見に従って溜池を掘ることになりました。村人全員が出て何日も池を掘り続けましたが、水が出てきません。村人があきらめかけた時、ある若者が大きな石を取り除きました。なんとそこから、こんこんと水が湧き出てきて池はまたたくまに一杯になりあふれるばかりでした。

村人は、この石は神様だとして、ほこらをたててあがめました。これが大石神社の始まりで、以後この一帯は良い田（飯田）と呼ばれたとのことです。

